

「沼津市自転車ネットワーク計画(案)」に関する意見募集の結果について

「沼津市自転車ネットワーク計画(案)」について、パブリックコメントを実施したところ、貴重なご意見・ご質問をいただきました。ご協力ありがとうございました。

いただいたご意見や市の考え方、計画への反映については、下記のとおりとさせていただきます。

1. パブリックコメントの実施状況

- 実施期間：平成29年10月6日(金)～平成29年11月6日(月)
- 意見提出：2通(1人:男性1人、女性1人)
- 意見数：2件
- 提出方法：持参:0通、電子メール:2通、FAX:0通

2. 提出された意見等及び市の考え方

番号	提出日	意見の内容(要約)	意見に対する考え方	修正の有無
1	10/5	<p>自転車は車道を走る規則ですが、以下の点などから車道の端を走るのがとても怖い。</p> <p>①側溝に雨水の流れていくグレーチング蓋があり、その上を自転車走ると濡れていなくても自転車のタイヤが横滑りします。</p> <p>②車道の端は、雨水が流れるように斜めになっていたり、コンクリートブロックの板になっていたり、路面の材質が違ったりで、平らになっていない。</p> <p>③車が駐車場から車道に出やすいよう、段差をなくす為の三角の乗り上げブロックが設置されていたりして、自転車のハンドルがとられる。</p> <p>リコー通りのユニコロ前の歩道は自転車道路が塗装されているが、沼津駅の方まで延長していただきたい。できればガード下にも塗装をお願いしたい。</p>	<p>沼津市自転車ネットワーク計画は、安全で快適な自転車通行空間を効果的・効率的に整備することを目的に、自転車ネットワーク路線を選定し、その路線の整備形態を示した計画であり、個別路線の詳細な構造等の検討は、整備予定時期を考慮して行うこととされています。そのため、本計画では個別路線の詳細な構造等については定められておりません。</p> <p>しかしながら、国土交通省及び警察庁が平成28年7月に策定した「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン(以下、「ガイドライン」と言う。)」において、自転車通行空間の設計の基本的な考え方の中で、「自転車道や車道端部の路面については、自転車の安全性を向上させるため、平坦性の確保、通行の妨げとなる段差や溝の解消に努め、滑りにくい構造とするものとする。なお、必要に応じて、側溝、街渠、集水ますやマンホールの溝蓋(グレーチング蓋)については、エプロン幅が狭く自転車通行空間を広く確保できるもの、自転車のタイヤのはまり込みを抑制するためグレーチング蓋の格子の形状等を工夫したもの、段差や路面の凹凸が小さく平坦性の高いもの等への置き換えや、スリップによる転倒防止のための滑り止め加工等を行うことが望ましい。また、路面表示等を設置する場合、できる限り走行性能を妨げないよう留意するものとする。さらに、これらの機能を継続的に確保できるよう維持管理に努めるものとし、自転車の安全な通行を阻害する轍や側溝との舗装すりつけ等縦方向の段差等にも留意するものとする。」と示されているため、各路線における具体的な整備実施に当たっては、これに沿った整備を進めていくものと考えております。</p> <p>リコー通りの自転車歩行者道につきましては、県により整備が進められておりますが、江原公園交差点からあまねガード北交差点までの区間について自転車歩行者道の整備を実施する予定と聞いております。</p> <p>ただし、自転車歩行者道につきましては、ガイドラインに基づく整備形態ではないため、本計画では、長期的には自転車専用通行帯を整備することとしております。</p> <p>あまねガードにつきましては、歩道の幅員が狭く自転車の通行が危険であるため、自転車通行不可ですので、ご理解をいただきたいと考えております。</p>	無

番号	提出日	意見の内容(要約)	意見に対する考え方	修正の有無
2	10/29	<p>6. 2. 自転車ネットワーク整備計画（郊外エリア）について 全体の見方は概ね賛成です。 自転車を通るとのことだけでなく、「自転車で生活し、途中立ち寄りたくなるエリアにしていく」という魅力あるまちづくりが大切だと思う。 郊外エリアは基本はサイクリストが対象となるコースだと思う。 駐車場整備もあわせていくと効果的だが、千本公園や外港などが候補になると思う。 サイクルマップにある西側防波堤のコースと起点が重なるのでサイクリストの拠点のような施設も市役所他組織と調整していただきたい。 起点になると思われる千本公園に、沼津市の特産品を用いたスタンド（ミカンジュース、沼津茶等）などを楽しめる場があると市役所の施策が結びついて、付加価値が高まるのではないかと。期間を区切って、事業者を募集してローテーションするなど、企業支援などとも繋がっていく可能性が有るのではないかと。 生徒数が少なくなる中で、千本小、二中の整理とあわせていく。 ※例えば、二中を二小に移転、二中校舎とグラウンドをスポーツや文化施設、シェアワーキングスペースなどに活用する。 ※千本小を廃止して、更にエリアを拡大、総合スポーツ施設など。 簡単に廃校できないのは十分理解していますが、現状を維持することが、生徒にとって本当に幸せなのかという視点が大切だと思う。</p>	<p>沼津市自転車ネットワーク計画にある郊外エリアは、基本方針3「観光・地域資源を活用した自転車の利用促進」の視点から「国道414号～沼津土肥線ルート」及び「静浦バイパス接続ルート」を自転車ネットワーク路線として選定しております。また、市街地エリアにつきましても、千本浜公園や沼津港等の観光施設へアクセスする路線やサイクリングマップの路線を自転車ネットワーク路線として選定しております。 本計画は、安全で快適な自転車通行空間を効果的・効率的に整備することを目的に、自転車ネットワーク路線を選定し、その路線の整備形態を示した計画であるため、駐車場整備や官民連携による具体的な観光施策については、本計画内では定めておりません。 しかしながら、自転車を活用した魅力あるまちづくりは重要であると考えており、平成27年10月に策定した「沼津市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」では、観光資源を最大限活用した交流人口の拡大として、サイクリストフレンドリーエリアの創出が示されております。取り組みとしては、「地域と観光客との交流拠点となる施設の整備」、「サイクリストの利便性向上に向けた環境整備」、「地域のおもてなし意識向上に向けた企画の実施」などを挙げており、グループサイクリングのパーク＆ライド拠点である「NUMAZU サイクルステーション 静浦東」を旧静浦東小学校に開設するなど、その取り組みを進めているところです。 学校施設等の再配置や跡地利用については、「沼津市ファシリティマネジメント計画」や児童生徒数の減少に伴い「沼津市立小・中学校の適正規模・適正配置の基本方針」などを策定しております。 適正化を実施する地域については、地域や学校関係者を委員として、広く意見を聴く中で学校施設を含め地域の実情に応じた適正化により、教育環境の整備を図ってまいります。</p>	無